

3. 北関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる	商店街（代表者）	・大河ドラマの関連商品が豊富で、土産品などの経済効果が大きく、新しいホテルのオープンや街なかの蕎麦店に行列ができていたりしている。
		コンビニ（経営者）	・気候が良くなることで人の動きも良くなる。
(北関東)	やや良くなる	コンビニ（経営者）	・新規開店してから客足が良い。
		スーパー（副店長）	・近くに大河ドラマゆかりの地があり、県内では7年に一度の大きなお祭りも控え、観光地を中心ににぎわいを見せ始めている。またガソリンの安値が続いたり、消費税増税の延期の話題など、生活に助かるニュースの影響もあるように感じられる。
		コンビニ（経営者）	・何か月も店の売上など横ばいであるが、少しずつ良くなるのではないかという明るい兆しがみえてきている。
		コンビニ（経営者）	・気温の上昇と共にアイスクリームや清涼飲料水、ビールの売上が増えると期待している。また、大河ドラマ関連の来客も見込めるのではないかと期待から、若干増えると予想している。
		コンビニ（経営者）	・3月に開通した道路が認知されていくと、交通量増加と共に来客数の増加につながる。近隣に間もなく工場が完成すると、従業員が増えるので期待できる。
		衣料品専門店（統括）	・季節が変わり暖かくなることによって客の購買意欲もある程度増してくる。これからいろいろなイベント、催しが増えてくると、そのために必要な物の購入が増えてくるのがこれまでの流れである。
		住関連専門店（仕入担当）	・前年の4月上旬は積雪があるなど異常気象により大きな影響を受けたが、今年はそこまでの状況は考えにくく、前年比では上回る予測である。
		スナック（経営者）	・来客数が自然に回復してきているような感じなので、期待が持てる。
		観光型旅館（経営者）	・今年は大河ドラマの影響で県の東側では比較的客の動きが良く、予約も前年よりやや多いようである。今月は例年並みよりやや悪いが、現状と比較すると2～3か月先は良い状況に好転すると見込んでいる。
		旅行代理店（所長）	・2015年に引き続き、神社仏閣の記念の年となっており、様々な行事も予定されている。前年に引き続き誘客が見込める要素となる。
		旅行代理店（営業担当）	・4～6月は、旅行の需要が増える傾向にある。
		観光名所（職員）	・数か月先までの運輸部門の予約状況が、現時点では比較的好調に推移している。
		ゴルフ場（総務部長）	・3月最終週になってやや暖かくなってきたことより、予約状況も良くなると思われる。
		その他サービス〔葬祭業〕（経営者）	・葬儀の依頼もあり、また、見学や問い合わせも入っている。関心が高くなっていると感じている。
		変わらない	
一般小売店〔精肉〕（経営者）	・暖かくなると人の動きは良くなると思うが、市場の様子を見ると中小業者の出入りが少ないようなので、当分の間はまだだめだろうと考えている。		
一般小売店〔乳業〕（経営者）	・良くなる要因がない。		
一般小売店〔家電〕（経営者）	・これから先、夏に向かっての商戦については、見通しがまだはっきりしない。		
百貨店（営業担当）	・気候により左右されがちな衣料品は相変わらず先が見えない。一方で、化粧品などの商品群では明るい兆しも見えてきているが、店全体では今後2～3か月先も変わらない。		
百貨店（店長）	・来客数の動向にあまり変化がない。		
スーパー（商品部担当）	・大河ドラマの効果に期待するも、思った以上の集客力はない状況である。来月には競合店のリニューアルを控えており、自社のイベント販促がどれだけ数字に貢献できるかにもよるが、大きな変動はなさそうである。		
コンビニ（店長）	・今後大型店ができるという話があるが、今のところ出来上がっていないので特別変わっていく理由がない。		
衣料品専門店（店長）	・先が読めない状況が続くため、現状維持のままで進むと思われる。		

家電量販店（店長）	・現状では、季節要因が強く出る月はエアコンが売れるか否かで大きく景気は左右されるが、最近では商品単価は上がる傾向にある。ただし、エアコンの総台数が増えないと厳しいと思われる。
乗用車販売店（経営者）	・景気の回復傾向が感じられない。
乗用車販売店（経営者）	・地元の主な産業である工業関係に活気が感じられない。
乗用車販売店（営業担当）	・年度切り替え時期で、自動車の廃車や名義変更等の事務作業が多少あり、やや忙しい日々だったが、この先の販売予想は白紙の状態である。
乗用車販売店（販売担当）	・新型車も出ないし、今より良くなる要因は何もないので、来客数も変わらない。
乗用車販売店（販売担当）	・何年か前に市町村合併して人口が約10万人近くとなったが、ここ何年かの間で若い人の流出が止まらず、今は8万人台にまで減ってしまっている。これから先、若い人が少なくなっているので、車の販売は伸び悩み、車検等の整備関係もそんなに増えるという期待はできない。このままの状態ですし、悪くなって毎月推移していくのかなという感じがしている。
住関連専門店（経営者）	・景気回復の具体的な突破口が見えない現状では、上向きへの変化は厳しいように思える。
一般レストラン（経営者）	・客数があまり増えず、このところ変わらない。
一般レストラン（経営者）	・同業者間の話も客が来ない話ばかりである。
一般レストラン（経営者）	・東京オリンピックの影響で一極集中となり、東京の方はかなりの発展が言われているが、地方都市ではなかなか景気回復の実感がわからない。地方創生の施策をもう少し推し進めて欲しい。
一般レストラン（経営者）	・消費税率引上げが先延ばしになるとの予想から、何とか現状を保つのではないかとと思われる。
一般レストラン（経営者）	・景気は底堅いと思うが、需要、労働力共に首都圏に吸引されている印象で、地元経済には活力が足りないと感じている。行楽シーズンになってくると、観光需要を取り込めれば景気は良くなるかもしれない。
スナック（経営者）	・変わらないと回答したが、良くなる要素がないというのが一番の答えのような気がする。毎回のようだが本当に先が見えない。都会だけは良さそうな気がするが、何とかそれが地方に回ってくる要素はないだろうか。
観光型ホテル（経営者）	・選挙や景気動向などが不確定、不安定なので、客の動きが現在と変わらないことを願っている。
都市型ホテル（スタッフ）	・年度初めやゴールデンウィーク後の売上の落ち込みは織り込み済みではあるものの、予約件数の伸びが前年と比べて鈍い。
都市型ホテル（営業担当）	・3店舗ホテルがあるが、エリア的なところからみても、3か月後に大きく需要が上向くとか、逆に大きく下がるような要素はないので、変わらないという見方をしている。
都市型ホテル（副支配人）	・ゴールデンウィーク明けごろまでは、このまま好調に推移していく見込みであり、それ以降も現在順調に予約を受注できている。
旅行代理店（従業員）	・ガソリン代が下がってきてはいるが、ヨーロッパでテロ事件などが起きているので情勢が不安定である。
タクシー運転手	・例年であれば歓迎会で動きは期待できそうだが、今年はどうなのかわからない。送別会と一緒に、あまり期待できそうにない。
タクシー（経営者）	・昼も夜も動きは変わらないので、この先も変わらない。
通信会社（経営者）	・電力小売自由化により、セット割などによって通信も競争が激しくなってくる。
通信会社（営業担当）	・世界情勢の不安等もあり、全体的に様子見の傾向にある。特段、景気刺激策もないことから、大きな変化は期待出来ない状況である。
遊園地（職員）	・インパウンド客の動向は変わらず推移すると考えている。
競輪場（職員）	・全国発売の記念競輪レースの売上がほぼ横ばいで推移しているからである。
その他サービス〔自動車整備業〕（経営者）	・県の南北の温度差は激しいが、発注状況は同レベルにあるため、総じて下降傾向である。
その他サービス〔貸切バス〕（経営者）	・今年は名刹の大祭がある。

	その他サービス [立体駐車場] (従業員)	・各テナント共に予約状況も横ばいか下回っている。客の買い方にしても買い控えが依然続いているようなので、変わらないという判断である。
	その他サービス [イベント企画] (職員)	・燃料費が低価格で安定しており、客も多少多いように感じるが、高揚感はあまり感じられない。
	設計事務所 (経営者)	・建築への設備投資の話をほとんど聞かないので、厳しい状況は続くと思込まれる。
	設計事務所 (所長)	・来月新しい期が始まるが、不安要素を抱えたままのスタートとなりそうなので、今月より良くなる様子は感じられない。
	住宅販売会社 (経営者)	・売買については特に減税等の変化がない限り、動きは見られないとみている。
やや悪くなる	商店街 (代表者)	・中心商店街の魅力も不可欠だが、その他、来街する必然が多くない限りは良い方向に向かわない。
	商店街 (代表者)	・学校販売が終わると今度は店売りになるが、店売りはどうしても在庫を多く持たなければならない。大型店には対抗できないので、やはり在庫はあまり持ちたくないため、売上も落ちてくるとみている。
	一般小売店 [衣料] (経営者)	・地域の観光地には多くの外国人客が来ているが、売上につながるようなことにはなっていないので、あまり良くなるのではないのではないか。
	百貨店 (販売促進担当)	・引き続きアパレルの不調が予想される。ファッション雑貨や食品物産展など好調な商品群もあるが、アパレルのマイナス分を他の商品群で補てんするのは容易ではない。
	百貨店 (店長)	・少し前までは売上の伸びが鈍くても高額品はそこそこ売れたが、ここにきて非常に悪い。
	スーパー (総務担当)	・今月があまり良くない状況である。売上、客数共に減っている。このところ客数は減ることがなかったため、この先が増えるとは思えない。
	スーパー (統括)	・春闘のベースアップは都市部の大企業の話であり、大多数を占める地方の中小企業までは広がらず、可処分所得が目減りする中、財布のひもはより固くなっていくことが予想される。
	コンビニ (経営者)	・競合店の増加でやや悪くなる。
	コンビニ (店長)	・4月1日よりたばこの3級品を中心とした値上げがあるので、たばこの駆け込み需要での来客数、売上増を期待したが、結果としては通常を下回っている。3か月後に良い方向に行くとは思えない。
	衣料品専門店 (販売担当)	・客との会話の中で、どうしても先行きの不安だとか今使えるお金がないという話が出てくる。やっと目の保養に来たというくらいが精一杯という感じを受けている。来月は年金の支給月だが、このところ年金をあてにした買物というのめかなり厳しくなっている。そういうことを考慮すると、これからは幾分厳しくなるのかなというのが実感である。
	乗用車販売店 (経営者)	・市内のスーパーマーケットなどは大規模小売店の食料品売場を中心に来客数がほぼ安定しているようだが、他は以前のような活気が少なく、金融機関の支店長も、市中でのお金の流れが少ない、企業中心の取引になってしまっている、と心配している。
	乗用車販売店 (管理担当)	・当社としては、商品力強化を図り、魅力ある車を作って顧客の購入意欲を上げないと、なかなか販売は厳しい状況である。
	自動車備品販売店 (経営者)	・今まで消費税増税に賛成していた花屋などが、最近では消費税を客に転嫁できないと話している。新たに消費税が上がることに對する不安があり、皆財布のひもが固くなって来客、消費量に影響が出ている状況なので、今までと同じようにやっていたのではとても客が来ない。単価を下げるなど苦労している。このままでは会社が危険な状況になっていくと心配している。
	その他専門店 [燃料] (従業員)	・販売量は前年割れしており、受注も減少している。今後は、季節変わりでも更に受注が減少傾向になる。
都市型ホテル (スタッフ)	・3～4月は歓送迎会のシーズンで、忘新年会に次ぐ稼ぎ時であるため、2～3か月先はちょっと厳しい。景気は決して良いとは思わないが、一生懸命努力していきたいと思っている。当県は新幹線の影響も多少あるかと思うので、対策として誘客に力を入れていきたいと考えている。	

		旅行代理店（副支店長）	・団体や企業渡航などの受注が少なく、前年度と比較しても60%ほどの受注となっている。国の政策にもよるが、あまりにインバウンドを受け入れる体制を推奨しているため、国内の需要に大きく影響を及ぼし、宿泊施設や交通機関の予約が取りずらく、日程変更が不可能な旅行者は取り止めており、来年度への影響が出ている。
		タクシー運転手	・11月までは順調だったが、12～1月に降雪がなかったからか、12月は前年比87%、1月が同94%、2月は同96%、3月は現在のところ90%ぐらいで推移しており、非常に将来が不安である。
		タクシー（役員）	・客の様子からの判断である。
		通信会社（社員）	・売上、手数料収入が減少し、販売に掛ける経費は増加している。
		テーマパーク（職員）	・参議院選挙などの影響から、来園者数が減少すると思われる。
		美容室（経営者）	・4月は家計の出費が多く、これからは生活防衛する客が増えてくる。単価の高い複合施術を希望する客は少なくなっている。
		美容室（経営者）	・確か先月も回答したが、地方の景気の冷え込みはひどくなっている。よそから訪れた人には静かな町だと言われ、周囲にはこれまでにないほど老人ホームが数多く建設されているが、特養ホームは相変わらず入所待ちである。地方都市では景気に直結する気配はなかなか感じられない。
		設計事務所（所長）	・年度が替わってしばらくは一番仕事のない時期なので、今の仕事が7月までとすると、今何か情報がなければならぬ。
		住宅販売会社（従業員）	・高齢のオーナーを中心に、別荘の取り壊しによる顧客数の減少が続いている。
	悪くなる	商店街（代表者）	・新年度から主力販売商品の仕入れ対象品が5～10%値上がりするが、小売価格には転嫁できず、利益率が低下するのは必至である。
		衣料品専門店（経営者）	・このまま消費税が10%になったら、かなり厳しい状況となる。
		スナック（経営者）	・客の会話の中で上向きになるという考えの客はほとんどいない。マイナスのような考え方になっている客が多い。
		通信会社（経営者）	・客の購買意欲がない。4月にスタートする電力小売自由化もそうだが、かえってデフレマインドをあおる結果になっているのではないかと。企業間競争をあおって家計の支出を減らし、その分を増税に当てさせるように見える。脱デフレがしたいのか、増税がしたいのか、このままではどちらもできないことになるのではないかと。
		通信会社（経営者）	・新年度早々の受注は例年下降傾向である。仕掛けている新規事業の種まきに費やす期間になるだろうとみている。
企業動向関連	良くなる やや良くなる	-	-
(北関東)		輸送用機械器具製造業（経営者）	・自動車メーカーの輸出が増加している。
		その他製造業〔環境機器〕（経営者）	・本業の3本柱の2つ、スプレー缶処理機と太陽光発電については順調である。
		建設業（開発担当）	・地方のため、公共工事主体の建設業である。現政権のもと、この3年間は安定した公共工事が確保されてきたが、10年以上続いた建設不況のため、企業は衰退してしまっている。今年度はここへきて前年並みの発注が確保できたので安堵している。経営はまだ厳しいが、何とか努力して安定経営に向けていきたい。
		経営コンサルタント	・株価変動や円レートの変化は無関係ではないが、地域経済はやや着実で、企業業績も安定した推移が期待できる。
		司法書士	・事前相談が少し増えてきているので、先に向かってやや良くなっていくのではないかとみている。
	変わらない	食料品製造業（営業統括）	・売上額は前年をクリアしているものの、一時の高付加価値商品志向から消費マインドは低下しつつある。
		窯業・土石製品製造業（経営者）	・動向は予測しづらいが、アプリでの商品販売展開を計画しており、幾らかでも期待している。
		窯業・土石製品製造業（総務担当）	・マイナス金利政策などは、当業界には関係ない状態である。
		金属製品製造業（経営者）	・受注量が多くなるように思っているがなかなか多くなれない。期待はしている。
		電気機械器具製造業（経営者）	・他の部門も新年度の新規発注が非常に少なくなっているの、現在はあまり仕事の動きがない。ここ数か月は相当厳しい状況が続く。
		電気機械器具製造業（経営者）	・不安定な状況は変わらない。

		電気機械器具製造業（営業担当）	・公共工事、民間工事共に減少しており、厳しい状況は変わらない。	
		輸送用機械器具製造業（経営者）	・1～3月は非常に良かったが、4～5月は取引先、受注量等が若干落ちるのではないかとみている。	
		その他製造業〔宝石・貴金属〕（経営者）	・香港での国際展示会は150～300USドルの低価格品のダイヤモンドペンダントやゴールド枠の製品が好調であったが、前年まで主流であった高額品の売上減が大きく響き、売上は概ね前年の70%となっている。国内マーケットはまだまだ低調で、海外マーケットで支えられてきたことから、不安は残る。	
		その他製造業〔消防用品〕（営業担当）	・しばらくはこのままの推移である。	
		輸送業（営業担当）	・4月からの夏物のエアコン、扇風機等の輸送量は前年並みの予定である。燃料コスト等で下がっている部分もあるが、車両確保の費用が上がっているため利益は薄くなりそうである。	
		金融業（調査担当）	・海外経済は不安定な状況が続くため、現状の推移が予想される。今後は、政府の来年度の経済対策動向が注目される。	
		金融業（経営企画担当）	・国内で初めてのマイナス金利政策が導入されたが、効果が出てくるまでに時間を要すること、また、政府による次なる対策が出てこないため、現状の景気動向が続くと考える。	
		広告代理店（営業担当）	・例年6月くらいまでは消費活動や企業の宣伝等が鈍る。	
		新聞販売店〔広告〕（総務担当）	・ホームセンターの出店計画はあるものの、スーパーの合併で競争力の低下が予想される。大型書店の閉店もあり、先行きは不透明である。	
		社会保険労務士	・大手の賃金受結額を見ると、個人消費は変わらず、地方の景気は今の状態が続くものと思われる。	
		その他サービス業〔情報サービス〕（経営者）	・引き合い、商談件数、受注量共に、特段の変化はみられない。	
	やや悪くなる	一般機械器具製造業（経営者）	・毎月、受注量の微減傾向に変わりはないが、新規取引先に試作品を提出して返事待ちのところまで来た。2～3か月後には結論が出ると思う。	
		一般機械器具製造業（経営者）	・建設機械関連の仕事で若干の受注増の傾向が見られるものの、自動車の試作開発関連は一服感があり、仕事量としては減少する見込みである。	
		建設業（総務担当）	・公共もそうだが、民間工事が動くという話もないので、第1四半期は厳しくなりそうである。	
		通信業（経営者）	・大口得意先が1件減った。	
		不動産業（経営者）	・受注が増えることは見込めない。	
	悪くなる	食料品製造業（製造担当）	・景況感が非常に悪く、財布のひもが固い。年度初めて、お金もかかり、食品はますます厳しくなる。	
		出版・印刷・同関連産業（経営者）	・毎月のことだが、資金繰りが大変である。	
		電気機械器具製造業（経営者）	・取引先より、4月からの新年度は新機種等の計画がなく、大幅に生産ダウンとなるので、当社からも一部の機種を引き揚げさせて欲しいという依頼を受けている。	
		不動産業（管理担当）	・4月以降、受託していた定期保守業務の受注がなくなる。新規受託業務の話も多少あるものの具体化していないため、なくなる分、売上が減少する見込みである。	
(北関東)	雇用 関連		-	
		人やや良くなる	人材派遣会社（経営者）	・新年度の切り替えもあり、全般的に募集が多くみられたようである。新年度の切り替え、春物衣料、食品は伸び悩みや新しいものにも価格競争があるので一概には言えないが、景気の見通しとしては幾分上向き傾向と思われる。製造業全般でも新年度から新しい力を入れていこうと、若者男女共にかなり採用が増えてきているので、今後も期待している。
			人材派遣会社（経営者）	・このところ新しい仕事が入ったので、前より少し良くなる予定である。
		変わらない	人材派遣会社（営業担当）	・ベースアップも少ないためか購買意欲がわかない。
			人材派遣会社（支社長）	・派遣社員から「直接雇用になった」とは聞かすが、よくよく聞けば正社員ではなく、1年契約の契約社員というケースが後を絶たない。企業側の採用意欲は強いものの、直接的にスタッフの収入は増えていないケースが多くみられる。
		求人情報誌製作会社（経営者）	・4月は周辺の中小企業で新入社員を受け入れるところがあるものの、全体には景気が低迷しているので正社員募集は少ない。	
		職業安定所（職員）	・求職者の減少が落ち着いてきている。	

	職業安定所（職員）	・大手企業による新工場設立に伴う大量求人や、小売業において新規開店に伴う求人の申込もあり、業種間によってばらつきは見られるものの、新規求人数については今後も高水準で推移していくと予想される。
	職業安定所（職員）	・この先の大量雇用の情報もなく、新規出店等の情報もないことから、季節的な雇用の増加はあるものの、景気の好転による雇用はないものと思われる。
	民間職業紹介機関（経営者）	・製造業において、中国ショック、円高、原油の値上がり不安等から、先行きを憂いていて、新規に医療、航空機、宇宙関係の案件を模索する企業が目立ってきている。
	学校 [専門学校]（副校長）	・新卒求人が始まり、県内でも企業ガイダンスが実施され始めているが、参加企業数は例年どおり少ない。企業が動かなくても、求職者からアプローチをかけているようである。企業の情報がもっと表に出てくようにならないと景気の回復とは言えない。
やや悪くなる	人材派遣会社（管理担当）	・3月末で契約が終了する携帯電話の製造派遣があるため、やや悪くなる。
悪くなる		